

都市再生整備計画 駿府ふれあい地区（第3期）の 評価についてご意見を募集します！

■駿府ふれあい地区（第3期）は、静岡駅周辺の中心市街地（約240ha）において、「賑わいと潤いあふれる歴史文化都市の形成」を大目標として、静岡市歴史博物館建設事業をはじめとした、様々なまちづくり事業を実施してきました。

■今回のパブリックコメントでは、平成28年度～令和3年度にかけて実施した、駿府ふれあい地区（第3期）の計画年度が完了することから、実施結果について市民の皆様からご意見をいただくものです。



静岡市歴史博物館建設事業（完成イメージ図）
（現在工事中。令和5年1月開館予定）



お堀の水辺デッキ整備
（駿府ホリノテラス）



東御門橋の架け替え
葵舟の運行

閲覧（配布）資料

- 意見公募の実施案内（この用紙）
- パブリックコメント資料
- 都市再生整備計画 事後評価シート（案）
- 意見応募用紙（配布）

閲覧（配布）場所



- 市街地整備課 窓口（市役所静岡庁舎新館7階）
- 各区役所の市政情報コーナー
- 市街地整備課HP 又は
静岡市HPパブリックコメント一覧

ご意見の提出方法

【意見募集期間】 令和3年11月26日（金） から 令和3年12月26日（日）まで

【提出方法】 市街地整備課HPもしくは以下QRコードから電子申請、または郵送、FAX、持参

郵送： 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 市街地整備課 静岡駅周辺整備係あて

FAX： 054-221-1117

市街地整備課HP：

https://www.city.shizuoka.lg.jp/230_000001_00038.html

（または、「静岡市 市街地整備課」で検索！）

電子申請
QRコード



【その他】 個人を特定できないように編集した上で、要旨をホームページ等で紹介させていただくことがあります。個人情報につきましては、厳正に管理を行い、他の目的に利用することはありません。

お問い合わせ先

静岡市 都市局 都市計画部 市街地整備課 静岡駅周辺整備係
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
TEL：054-221-1413（直通）
FAX：054-221-1117

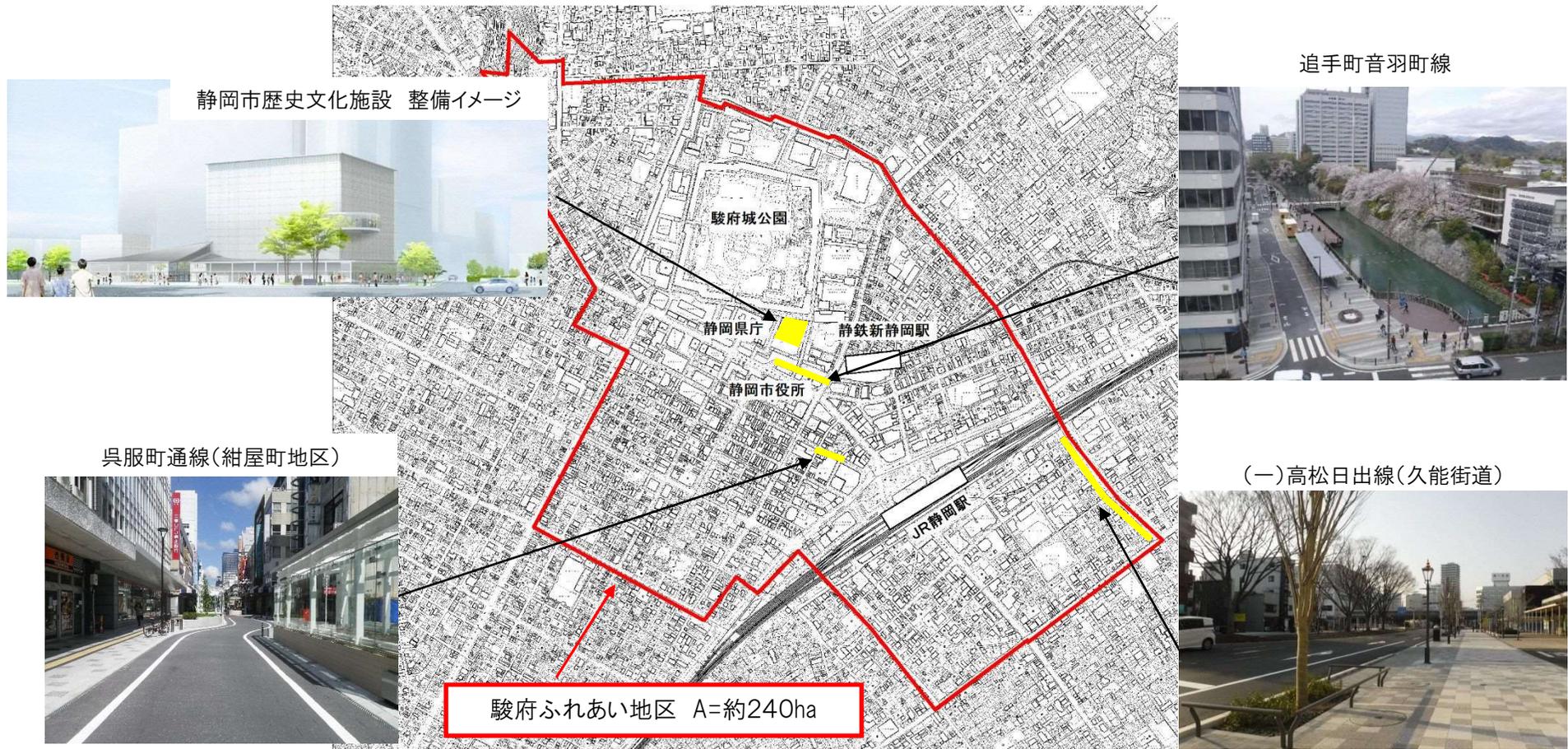


駿府ふれあい地区(第3期)
都市再生整備計画の
評価について
(パブリックコメント資料)

【実施期間 令和3年11月26日(金)～令和3年12月26日(日)】

1. 駿府ふれあい地区について

- 駿府ふれあい地区は、静岡駅の徒歩圏の静岡都心の中心に位置し、多様な都市機能を持つとともに、駿府城公園をはじめとした歴史資源も兼ね備えており、今後も静岡県中部地域の中核機能を担いつつ、静岡の更なる魅力向上をけん引していくことが求められている地区です。
- 静岡市では、この地区の継続的なまちづくりを進めていくため、平成28年度～令和3年度にかけて「都市再生整備計画」を策定し、今年度、評価を実施しています。



2. 駿府ふれあい地区 都市再生整備計画の概要

このページでは、まちづくりの効果を検証するために設定した、目標と指標について紹介しています。各指標の数値のアップを目指し、まちづくりを進めてきました。

大目標 賑わいと潤いあふれる歴史文化都市の形成

小目標

小目標

1 歴史的価値のみがきあげによる拠点性向上

目標を定量化する指標

指標 1

歴史・文化などの地域資源が活かされていると思う市民の割合(%)

従前値(H27)
32.2%



目標値(R3)
50.9%

※アンケート調査より

小目標

2 多彩な交流と活動を支える道路交通環境の充実

指標 2

中心市街地はにぎわいや魅力が増したと感じる市民の割合(%)

従前値(H27)
58.4%



目標値(R3)
66.8%

※アンケート調査より

小目標

3 賑わい創出のためのまちなかの魅力向上

指標 3

歩行者通行量(人/日)

従前値(H26)
6,445人



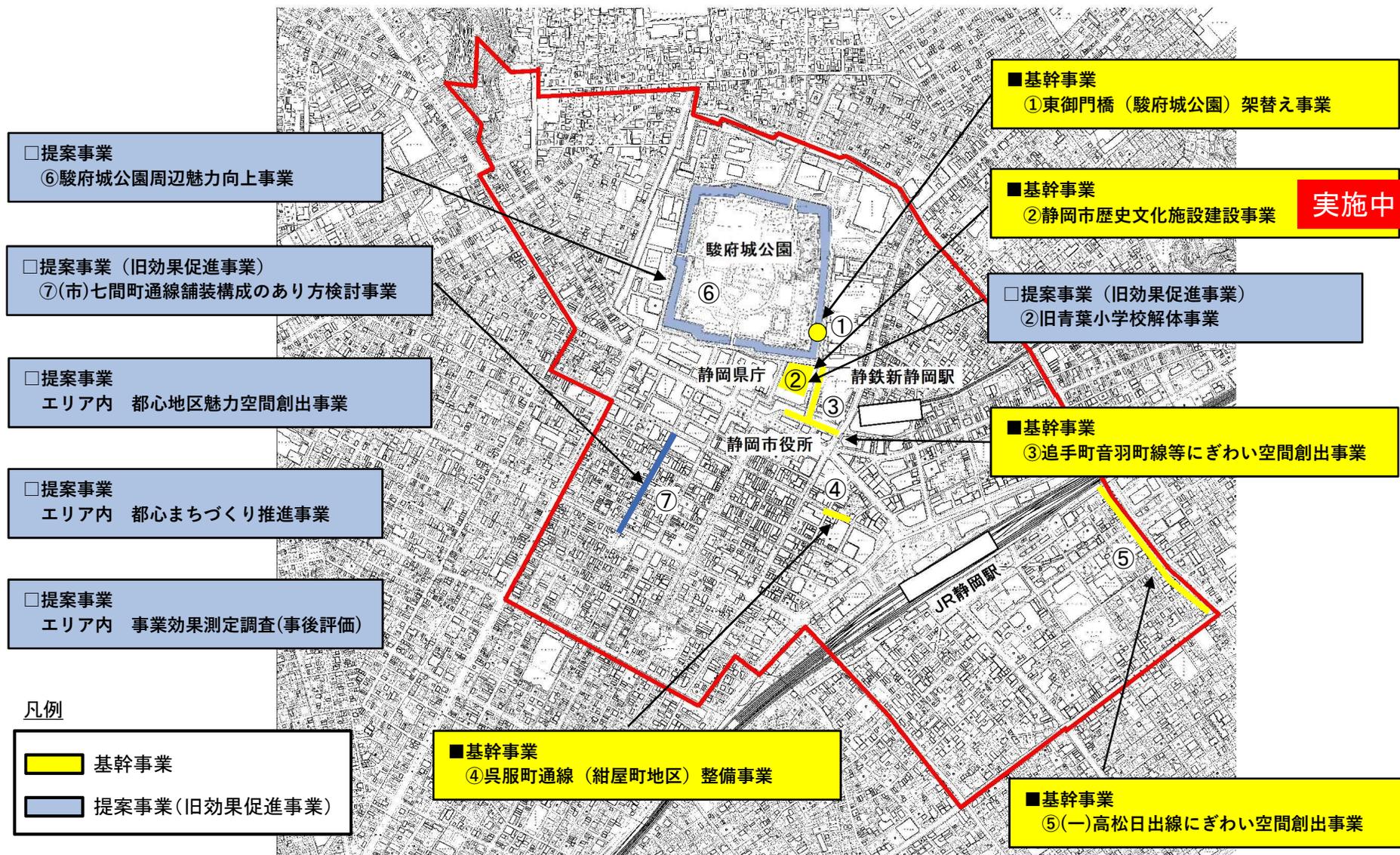
目標値(R3)
7,236人

※中心市街地主要地点(58地点)における、日曜日10時～17時の歩行者通行量の1地点あたりの平均歩行者数。

2. 駿府ふれあい地区(第3期) 都市再生整備計画の概要

事業概要図

ここでは、平成28年度～令和3年度の間に実施された各事業について紹介しています。



3. 目標指標の達成状況

■ 評価の結果

アンケート、歩行者通行量調査による評価の結果は、以下のとおりです。

目標指標	従前値	目標値	事後評価値	目標達成度
指標1 歴史・文化などの 地域資源が活かさ れていると思う 市民の割合(%)	32.2% (H27)	50.9% (R3)	38.9% (R3)	 ※令和5年1月の歴史博 物館開館が機能を発揮し、 目標達成を目指します。
指標2 中心市街地は 賑わいや魅力が 増したと感じる 市民の割合(%)	58.4% (H27) ※H22~H27(5年間)の 間に賑わいや魅力が増 したと感じる市民の割合	66.8% (R3) ※H27~R3(6年間)の 間に賑わいや魅力が増 したと感じる市民の割合	33.0% (R3) ※H27~R3(6年間)の 間に賑わいや魅力が増 したと感じる市民の割合	 ※コロナ収束後のイベント 開催等により目標の達成を 目指す。
指標3 歩行者通行量 (人/日)	6,445人 (H26)	7,236人 (R3)	4,218人 (R2) ※R2年度の数値であり、 今後R3年度数値に置換	 ※コロナ収束後のイベント 開催等により目標の達成を 目指す。

※令和6年度にフォローアップを実施し、成果を再確認します

4. 実施過程の評価

駿府ふれあい地区(第3期)では、ワークショップやイベントを通して広く市民の意見を取り入れたまちづくりを実施しました。

住民の意見を広く取り入れ、計画や設計に反映するため、協議会やワークショップを実施

- 地元協議会の設立
- ワークショップの開催
- 意見交換会を実施

歴史文化施設建設への広報・機運醸成のため、事業関連イベントを実施

- 歴史文化施設で展示予定の東海道図屏風の先行展示を実施
- 静岡市の近現代についての展示イベントを実施

地域主体のまちづくりを行うため、地元組織づくり・仕組みづくりを支援

- 整備後も地域が主体となって整備した空間をイベント等で活用するための組織づくりや運営体制づくりの支援を実施



“歴史文化施設を核としたまちづくり”
ワークショップの様子



おかえりなさい東海道図屏風ワークショップ
「古文書触ってみる？」の様子



追手町音羽町線等にぎわい空間
活用に向けた社会実験の様子



久能街道まちみがき研究会
ワークショップの様子



静岡発 近代日本のはじまり
展示室の様子



空間活用に向けた話し合い
(協議会)の様子

5. 今後のまちづくり方策(まちの課題)

■ まちの課題を整理する

評価の結果を受けて、今後のまちづくりの課題を以下のとおり整理しました。

事業前の課題	達成されたこと	残された未解決の課題
歴史的な名所の核づくり	東御門・巽櫓展示室の改修や東御門橋架け替えが完了した。 また、お堀の水辺空間活用事業で葵舟の運行がスタートした。	現在建築中の <u>歴史文化施設を確実に完成</u> させる。
誰もが安心してアクセスし回遊できる道路交通環境の充実	呉服町通線、追手町音羽町線、城内1号線、日出高松線の道路整備が完了し、歩行者にやさしく高質な道路空間が生まれた。	引き続き中心市街地内の公共空間を整備し、 <u>道路交通環境の充実</u> を図る。
静岡都心エリアに相応しいにぎわいの創出	追手町音羽町線の「駿府ホリノテラス」や呉服町通線の <u>まち劇スポット</u> など新たに賑わいの生まれる空間を整備した。	コロナにより、イベント等が実施されておらず、新たな賑わいスポットが有効活用されていない。 <u>コロナ収束後の新たな展開を睨んで賑わい創出に向けた準備</u> を進める。
まちなかの更なる魅力向上	駿府ホリノテラスを管理する都市再生推進法人等新たなまちづくり団体が発足した。ワークショップ等の開催により <u>まちづくりに対する機運の醸成</u> が図られた。	引き続き、現在ある協議会や団体等を継続させつつ、 <u>新たな協議会や団体等の設立</u> を目指す。また、ワークショップやフォーラム等の開催により、 <u>市民参画によるまちづくりの意識向上</u> を図る。

6. 今後のまちづくりについて

近年、都市が抱える根本的な課題を取り込みながら、駿府ふれあい地区の今後のまちづくりにおける新たな課題を整理しました。

都市の抱える課題



+

都市形成の重要項目

DX、スマートシティ、コンパクトシティ

SDGs(持続可能な開発目標)

ニューノーマル(新しい生活様式)

次期計画
(第4期)

駿府ふれあい地区
(第3期)
における
新たな課題

- ・ 歴史文化の街として、既存資源の有効活用や更なる整備を実施する。
- ・ 中心市街地の潤いや賑わいを生み出す新たな魅力的な空間の創出を目指す。
- ・ 歩いて楽しい地域づくりのため、歩行者の回遊性や安全性の向上を目指す。
- ・ まちづくりに関する地域参加を促し、官民協働による公共空間を活用した、賑わい創出の施策を実施する。

7. 今後のスケジュールについて

駿府ふれあい地区(第3期)の評価に関するパブリックコメント後のスケジュールをお知らせします。

- 令和4年1月下旬 : 有識者(第3者)による評価委員会の実施
- 令和4年3月下旬 : 評価結果のまとめ及び国への結果の報告
- 令和4年4月 : 事後評価の公表
- 令和6年 : フォローアップ実施

都市再生整備計画 事後評価シート(案)

駿府ふれあい地区(第3期)

令和3年11月
静岡県 静岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	静岡市		地区名	駿府ふれあい地区(第3期)			面積	240ha			
交付期間	平成28年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	5,443百万円	国費率	0.5					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【高質空間形成施設】呉服町通線(紺屋町地区)整備事業 【高質空間形成施設】追手町音羽町線等賑わい空間創出事業 【高次都市施設】静岡市歴史文化施設(ビジターセンター) 【中心拠点誘導施設】静岡市歴史文化施設(教育文化施設)											
		提案事業	-											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-											
		提案事業	-											
	新たに追加した事業	基幹事業	【公園】東御門(駿府城公園)架替え事業					歴史文化施設と連携して駿府城公園の歴史文化拠点としての価値を高め、賑わいを創出するために追加(令和2年1月に計画変更で追加)。	小目標1に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。					
			【高質空間形成施設】(-)高松日出線賑わい空間創出事業					賑わいの空間形成を目指す高質空間形成施設の整備を行うため追加(平成29年1月に計画変更して追加)。	小目標2、小目標3に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。					
		提案事業	【地域創造支援事業】駿府城公園周辺魅力向上事業					歴史文化施設と連携して駿府城公園の歴史文化拠点としての価値を高め、賑わいを創出するための調査を追加(令和2年1月に計画変更で追加)。	小目標1に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。					
			【事業活用調査】事業効果測定調査					本事業の事業効果を評価するために追加(令和2年1月に計画変更で追加)。	影響なし。					
			【事業活用調査】都心まちづくり推進事業					賑わいの空間形成を目指すために必要な調査を追加(令和2年1月に計画変更で追加)。	小目標2に関連し、指標は据え置くが、数値目標は交付金間を1年延伸したため、上方修正した。					
	【事業活用調査】静岡都心地区魅力空間創出事業					賑わいの空間形成を目指すために必要な調査を追加(令和2年1月に計画変更で追加)。	小目標2、小目標3に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。							
交付期間の変更	当初	平成28年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		交付期間を1年延伸したことにより、歩行者交通量の数値目標も1年延伸した推計値で設定した。								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み					
	指標1	歴史・文化などの地域資源が活かされていると思う割合	%	32.2	H27	50.9	R3	27.0	38.9	△	あり なし	●	歴史文化施設建設工事が事業期間内及び1年以内に完成することが困難となったため、目標の評価値には及ばなかった。令和5年1月の歴史文化施設開館が歴史文化の情報発信地としての機能を発揮し、フォローアップで達成する見込みである。	令和6年度
	指標2	中心市街地はにぎわいや魅力が増したと感じる市民の割合	%	58.4	H27	66.8	R3	28.0	33.0	×	あり なし	●	コロナ禍により、人流抑制が求められ、中心市街地のイベント等が中止されたため、事業効果が発揮されなかった。また、コロナ収束の目途が立たず、新しい生活様式の急激な変化により、当初計画していた目標値に達成するのが困難となった。引き続き、イベントの開催等による人流調査を実施していく。	令和6年度
指標3	歩行者交通量	人	6,445	H28	7,236	R3	6,519	4,218	×	あり なし	●	コロナ禍により、人流抑制が求められ、中心市街地のイベント等が中止されたため、事業効果が発揮されなかった。また、コロナ収束の目途が立たず、新しい生活様式の急激な変化により、当初計画していた目標値に達成するのが困難となった。引き続き、イベントの開催等による人流調査を実施していく。	令和6年度	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み					
その他の数値指標1		/												
その他の数値指標2		/												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 駿府ホリノテラスの設置により、都市推進法人による様々なイベント活動や出店が行われることで、新たな人流が生まれている。 中心市街地の賑わいは、アンケート調査では「賑わい＝人がたくさんいる」という認識があり、コロナ禍の状況では判断が難しいが、本地区の各種事業を進めることで確実に整備効果が上がった。 歩車共存空間を生み出すことで、歩行者にとって安全安心が増した。 													

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等
	モニタリング	・指標の達成状況の計測と庁内組織による検討【都市再生整備計画事業モニタリング】	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	
住民参加プロセス	・呉服町通線(紺屋町地区)整備事業【地元ワークショップの開催】、【地元代表者会議】 ・追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業【追手町音羽町線空間活用検討協議会】(第1回～第6回) ・追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業【追手町音羽町線空間活用意見交換会】 ・(一)高松日出線にぎわい空間創出事業【地元協議会でのワークショップの開催】	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		・市と地元が連携し維持・管理及び更新を行う。
	・静岡市歴史文化施設(ビクターセンター)(教育文化施設)【歴史文化施設を核としたまちづくりワークショップ及びパネルディスカッション】、【青葉小学校舎メモリアルイベント「うまれかわりの文化祭」】、【静岡発近代日本のはじまり】、【おかえりなさい東海道図屏風】	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		・2023年開館を目指し、建設中。
持続的なまちづくり体制の構築	・追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業【追手町音羽町線にぎわい空間創出検討調査】	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●		駿府城公園周辺の賑わいを創出するため、既存店舗の継続や新たな施設設置等を誘導していく。

様式2-2 地区の概要

駿府ふれあい地区(第3期)(静岡県静岡市)都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標 賑わいと潤いあふれる歴史文化都市の形成	歴史・文化などの地域資源が活かされていると思う市民の割合	32.2 H27	50.9 R3	38.9 R3
小目標1 歴史的価値のみがきあがりによる拠点性向上	中心市街地はにぎわいや魅力が増したと感じる市民の割合	58.4 H27	66.8 R3	33.0 R3
小目標2 多彩な交流と活動を支える道路交通環境の充実	歩行者交通量	6,445 H28	7,236 R3	4,218 R2
小目標3 賑わい創出のためのまちなかの魅力向上				

まちづくりの目標

- 提案事業 駿府城公園周辺魅力向上事業
- 効果促進事業 駿府城公園周辺魅力向上事業
- 提案事業 都心まちづくり推進事業
- 効果促進事業 都心まちづくり推進事業
- 効果促進事業 (市)七間町通線舗装構成のあり方検討事業
- (高質空間形成施設) 駿府城公園周辺魅力向上事業
- 効果促進事業 都心地区魅力空間創出事業
- 効果促進事業 都心地区魅力空間創出事業
- (高質空間形成施設) 追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業
- (高質空間形成施設) (一)高松日出線にぎわい空間創出事業
- 提案事業 事業効果測定調査(事後評価)
- 効果促進事業 事業効果測定調査(モニタリング)
- (高質空間形成施設) 呉服町通線(紺屋町地区)整備事業

凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- 効果促進事業
- 提案事業
- 効果促進事業
- (高質空間形成施設)
- 提案事業
- 効果促進事業

凡例

- (高質空間形成施設) 呉服町通線(紺屋町地区)整備事業

写真

- 呉服町通線(紺屋町地区)整備事業
- 東御門橋(駿府城公園)架替え事業
- 静岡市歴史文化施設建設事業
- 追手町音羽町線等にぎわい空間創出事業
- (一)高松日出線にぎわい空間創出事業

まちの課題の変化

(達成されたこと)

- 東御門・異櫓展示改修や東御門橋架け替えが完了した。また、お堀の水辺空間活用事業で菱舟の運行がスタートした。
- 呉服町通線、追手町音羽町線、城内1号線、日出高松線の道路整備が完了し、歩行者にやさしく高質な道路空間が生まれた。
- 追手町音羽町線の「駿府ホリノテラス」や呉服町通線のまち劇スポットなど新たに賑わいの生まれる空間を整備した。
- 駿府ホリノテラスを管理する都市再生推進法人等新たなまちづくり団体が発足した。ワークショップ等の開催により、まちづくりに対する機運の醸成が図られた。

(残された未解決の課題)

- 本計画の最大の核となる歴史文化施設の完成が遅れた。原因となった建設予定地からの遺跡の発見を好機と捉え、より質の高い施設の完成を目指す。
- 引き続き中心市街地内の公共空間を整備し、道路交通環境の充実を図る。
- コロナにより、イベント等が実施されておらず、新たな賑わいスポットが有効活用されていない。コロナ収束後の新たな展開を睨んで賑わい創出に向けた準備を進める。
- 引き続き、現在ある協議会や団体等を継続させつつ、新たな協議会や団体等の設立を促す。また、ワークショップやフォーラム等を開催し市民参画によるまちづくりの意識向上を図る。

(新たな課題)

アンケートによると、市民は「目的地(行きたい場所)がたっくさん」、「人がたっくさんいる」ことに賑わいや魅力を感じる事が分かったため、イベントスペースを活用して、中心市街地に人を呼び込む活動を行うことが必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 歴史文化の街として既存資源の有効活用や更なる整備を実施する。
- 中心市街地の潤いや賑わいを生み出す新たな魅力的な空間の創出を目指す。
- 歩いて楽しい地域づくりのため、歩行者の回遊性や安全性の向上を目指す。
- まちづくりに関する地域参加を促し、官民協働による公共空間を活用した、賑わい創出の施策を実施する。

駿府ふれあい地区（第3期）の評価に関する意見応募用紙

駿府ふれあい地区（第3期）の評価について、あなたのご意見をお聴かせください。

【ご意見のタイトル（項目、訂正箇所等）】
【ご意見の内容】

- ※1 複数のご意見がある場合は、1枚に1件ずつお書きください。
- ※2 いただいたご意見は、今後の駿府ふれあい地区計画の参考とさせていただきます。また、個人が特定できないよう編集した上で、意見の要旨を市ホームページ等で原則公開させていただきますので、ご了承ください。
- ※3 上記「ご意見の内容」欄に「別紙のとおり」と記入していただき、別紙にてご提出いただくことも可能です。

* 住 所 (法人の場合は所在地)	
* 氏 名 (法人の場合は名称及び代表者名)	
性 別	<input type="checkbox"/> 男 性 <input type="checkbox"/> 女 性 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 回答しない
年 齢	<input type="checkbox"/> 19 歳以下 <input type="checkbox"/> 20 代 <input type="checkbox"/> 30 代 <input type="checkbox"/> 40 代 <input type="checkbox"/> 50 代 <input type="checkbox"/> 60 代 <input type="checkbox"/> 70 歳以上

- ※1 *印のある欄は必ずご記入ください。(意見の提出に際して、「静岡市市民参画の推進に関する条例施行規則」第5条第4項において、個人の場合は住所及び氏名、法人その他の団体の場合は、名称、所在地及び代表者の氏名を明らかにすることとされています。ご協力をお願いいたします。)
- ※2 個人情報については、厳正に管理を行い、「静岡市市民参画の推進に関する条例」に基づくパブリックコメントの目的以外では使用いたしません。

ご意見、ありがとうございました。

下記あて先に、郵便かファクシミリにより送信、または直接持参してください。

《送付（問い合わせ）先》

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

静岡市役所 静岡庁舎新館7階 都市局都市計画部市街地整備課 静岡駅周辺整備係

[電 話]054-221-1413 (直通) [ファクシミリ]054-221-1117